

マンガで
わかる♪

21世紀兵庫長期ビジョン

きょう どう せん りやく

2040年への協働戦略



みんなつくで創る 兵庫の未来





創造と共生の舞台・ 兵庫をめざして

兵庫も人口減少社会を迎えました。県人口は2010年の559万人をピークに、2040年には約470万人まで減少すると見込まれます。あわせて、少子化、高齢化、人口の偏在が進みます。人口の増加や経済規模の拡大を前提に設計された20世紀型の制度やしくみを、新しい時代にふさわしいものへ転換していくことが急務です。量的な豊かさではなく、「兵庫らしい質的な豊かさ」を求めていくことが必要です。今まさに大きな転換期にあると言えるでしょう。

歴史を振り返ると、難局こそが新時代を開く扉でした。私たちの前に立ちはだかる壁を、未来への扉に変えていかなければなりません。

その第一歩は、将来のビジョンを描き、進むべき道を人々が共有することではないでしょうか。

兵庫県は、このたび10年ぶりに21世紀兵庫長期ビジョンの見直しを行いました。県民の皆様とともに描いた2040年にめざすべき兵庫の姿は、「創造と共生の舞台・兵庫」です。そして、県民が主体的に活動し、地域が自立・持続する力を高めていく姿を12の将来像として描くとともに、その実現に向けた協働シナリオを掲げました。地域社会を構成する多様な主体が協働し、「自立と連帯」「安心と活力」「継承と創造」を基本姿勢に、夢を持って、力強く取り組んでいきます。

進取の気性、多彩な人材、個性的な地域、分厚い産業構造、科学技術基盤の集積など、多くの強みをもつ兵庫です。これらを存分に生かすことで、未来を切り拓くことができるはずです。

目標なくして実現なし。新たな価値を生み出し、人の絆と豊かな自然の中で誇りをもって暮らせる兵庫を、力を合わせて築いていこうではありませんか。

兵庫県知事

井戸敏三

県民主役・地域主導

県民自らが地域の「夢」、ビジョンを描き、その実現に取り組むとともに、地域を構成する多様な主体が連携して地域づくりのリーダーシップを発揮することを期待しています。

「計画」でなく「ビジョン」

行政が実施する事業の量を示すための「計画」ではなく、県民、事業者、団体、NPO、行政などの多様な主体が、目標として共有できる望ましい社会の姿を示す、みんなの「ビジョン」です。



「プロセス重視」

「つくって終わり」ではなく、みんなが実現に向けてできることに取り組み、みんなが進み具合を点検・評価していく「プロセス」を大切にする「成長し続けるビジョン」です。

参画と協働

地域を構成する多様な主体が、知恵と力を出し合いながら、自らの責任のもとに主体的に「参画」し、対等なパートナーシップのもとに、ともに将来に向かって「協働」していきます。

Contents

I 成熟社会を切り拓く 「21世紀兵庫長期ビジョン」とその役割

■～プロローグ～「30年後の兵庫と私」
(第1話(羽?):「コウノ(幸乃)さん登場!」の巻)

II 全県ビジョン 「21世紀兵庫長期ビジョン-2040年への協働戦略」

創造的市民社会 P10へ
(将来像・シナリオ1~3)
(第2話:「地域まるごと家族って」の巻)

しごとと活性社会 P16へ
(将来像・シナリオ4~6)
(第3話:「あしたの兵庫を創るしごと」の巻)

環境優先社会 P22へ
(将来像・シナリオ7~9)
(第4話:「自然と共に生きよう」の巻)

多彩な交流社会 P28へ
(将来像・シナリオ10~12)
(第5話:「交流は元気のもと!」の巻)

III 地域ビジョン～地域から創る兵庫～

P34へ

■～エピローグ～「みんなで創る兵庫の未来」
(第6話:「みんなで創る兵庫の未来!」の巻)

IV 21世紀兵庫長期ビジョン見直しの経緯

プロローグ

創造的市民社会

しごとと活性社会

環境優先社会

多彩な交流社会

9つの地域ビジョン

エピローグ

I

成熟社会を切り拓く 「21世紀兵庫長期ビジョン」とその役割



21世紀兵庫長期ビジョンとは

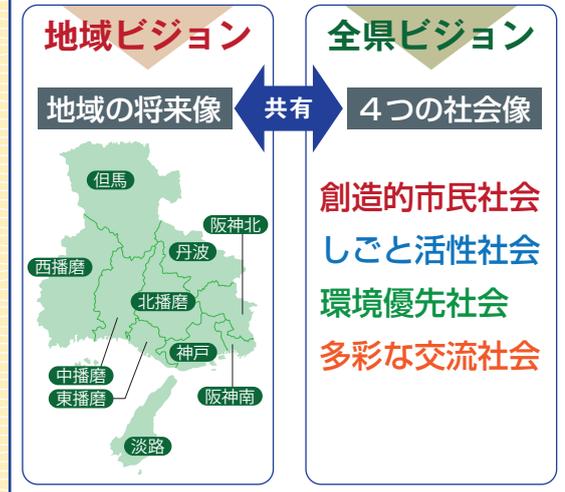
21世紀兵庫長期ビジョンは、県民主役・地域主導のもとで、兵庫がめざすべき社会像とその実現方向を描いた指針として、平成13（2001）年に策定しました。

それぞれの地域特性や住民意識を反映しながら、個性豊かな地域の将来像を描く

「**地域ビジョン**」と、
全県的な視点に立つ

「**全県ビジョン**」から構成されています。

21世紀兵庫長期ビジョンの構成

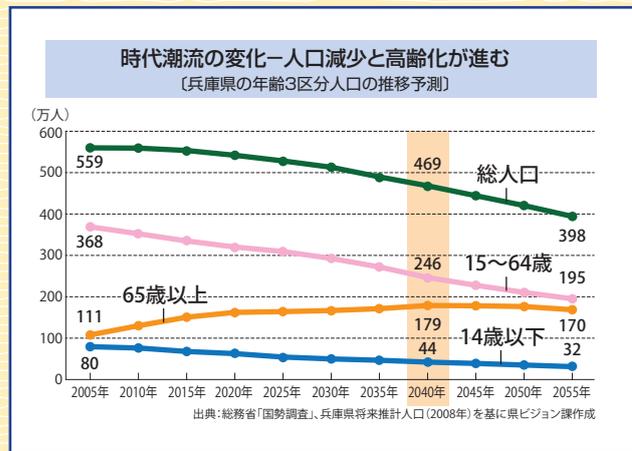


時代潮流の変化の中でのビジョン見直し

人口減少社会の到来とともに、グローバル化、アジアの台頭、地球環境・エネルギー問題など社会や経済が著しく変化しています。時代の大きな変わり目にある現在、今後の兵庫のめざす姿を共有し、共に歩んでいくことが必要です。

こうした中でビジョンの本格的な見直しに平成21年度から着手し、幅広い世代が参加するフォーラム、地域夢会議などの場を通じて、県民の皆さんと共に兵庫の将来像を考えてきました。

平成23年12月に全県ビジョンの改訂版である「21世紀兵庫長期ビジョン-2040年への協働戦略」を県議会の議決を経て策定しました。また、各地域ビジョンについても、それぞれの地域ビジョン委員会での検討を経て改訂を行いました。



- 展望年次（将来を考えるため見通しておく時期）
2030年頃→2040年頃
- 想定年次（ビジョン実現に向け取り組む時期）
2010年頃→2020年頃



ビジョンの性格と役割

- ① 県民主役・地域主導の自立的な地域づくりの羅針盤
- ② 市町や他府県域との連携・協働を図る指針
- ③ 県の各分野計画などとも将来像を共有し、県のさまざまな施策に反映